

その常識、変えてみせる。

SHIFT

本当に使える SOCは、 こっちだ。



SHIFTの SOC as a Service

社内ネットワークやIT機器へのサイバー攻撃の脅威を監視・検知する専門組織、SOC (Security Operation Center)。巧妙化・高度化するセキュリティインシデントを素早く正確に見抜くためには高いスキルが求められることや24時間365日の監視体制が必要となることから、アウトソーシングでSOCを導入する事業者も増えています。

SHIFTでは、従来型のSOCがもつ課題を解決できるクラウド型のSOCサービス(SOCaaS)を提供しています。SOC導入を検討中、または現状のSOCにお悩みをおもちなら、SHIFTのSOCの特長をぜひお確かめください。

従来型SOCの問題点

1 柔軟性

- 監視対象となる製品・システムが限定的。監視したいシステムがあっても対象外となることも。
- ベンダーが提供している製品導入が条件となることも多い。

2 品質

- 監視や分析、アラート内容などがアナリストによってバラつきがあり、品質が安定しない。
- 監視内容が画一的で、個別のケースへの対応が不十分なことが多い。

3 コスト

- 希少なセキュリティ人材を24時間365日稼働させるため、導入・運用コストが高くなりがち。

SHIFTのSOCaaSはこれらの課題を解決し、“誰も見捨てない”SOCサービスを提供!

SHIFTなら、自社要件に合った自由度の高いSOCを低コストで。

SOC as a Service (SOCaaS) とは、スタッフを配置し維持するセンター型とは異なり、クラウドサービスとして SOC の機能を外部提供するものです。SHIFT は、次世代型 SOC としてこの SOCaaS を提供。利用するセキュリティ機器を問わず、ログを 24 時間 365 日収集し監視・分析、必要に応じて適切に対処します。機器を入れ換える必要はなく、ログ量に応じた課金のため、スモールスタートで容易に利用をはじめられます。

SHIFTのセキュリティ監視が担う役割

監視

各機器からのアラートはSIEMと呼ばれるログ分析基盤に送られ、これまでに蓄積してきたナレッジやフレームワークと照らしあわせ、さらに AI 技術も組みあわせて解析します。その結果をもとに監視センターのメンバーが判断し、必要に応じてお客様に報告します。

セキュリティアナリスト

監視メンバーだけで対応・判断できない新たなインシデントが見つかった場合、セキュリティアナリストが専門的な知見を生かしてサポートします。さらに詳細な分析が必要な場合には、フォレンジック（証拠収集・分析）の専門家などと連携することもあります。

システム管理

テストベンダーとしての SHIFT の知見をいかし、「攻撃者がどのようなところを狙うか」「最近はどのようなリスクが高まっているか」といった最新のセキュリティ動向をもとに対応の流れを仕組み化し、属人化しないシステム管理を可能にしています。

メリット

1 柔軟性

- マルチベンダー対応
- マルチクラウド対応
- お客様にあわせた自由度の高さ

2 高品質な監視

- 属人性を排除した安定した監視
- 社内対応範囲もサポート
- 日本語での対応が可能

3 低価格化

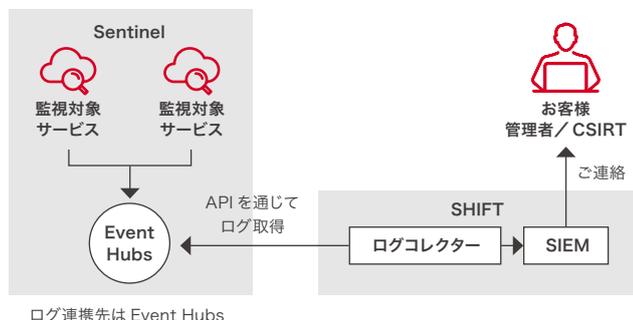
- 月額 7.5 万円～圧倒的低価格
- スモールスタート後スケール可能

導入事例1

課題

2種のクラウド基盤監視に対応できるベンダーを探していた。

Microsoft Azure



あらゆるデバイスやクラウド環境に対応可能な SOCaaS導入により2種のクラウド基盤監視が可能に

導入事例2

課題

SIEM内製運用コスト、24/365運用体制維持コストが高くなってきており、外注を検討していた。

初期費用 (例)

従来 SOC	→	SOCaaS 導入効果
トータル	3,000 万円	初期費用 100 万円
構築期間	半年以上	監視開始まで 1ヶ月

ランニング費用 (例)

従来 SOC	→	SOCaaS 導入効果
トータル	300 万円/月	サービス利用料金 100 万円/月

初期コスト 9割以上削減、ランニングコスト 7割以上削減に成功!

お気軽にお問い合わせください

その常識、変えてみせる。

SHIFT

 0120-142-117

IP 電話など、フリーダイヤルをご利用できない場合は、市外局番の電話番号におかけください。TEL.03-6809-2979

 marketing@shiftinc.jp

 <https://service.shiftinc.jp/contact/>